

# 調査票サンプル

## 2018年度日本語教育機関調査(国際交流基金)

### 本調査について

#### 1. 調査の対象となる機関について

本調査では、外国語として日本語教育を行っている全ての機関を対象とします。

そのため、次のような機関は対象ではありません。

ア. 組織としての実体を伴わない団体や活動

イ. 在留邦人の子女向けの日本人学校

ウ. 不特定多数を対象に日本語教育を行っている放送局や Web ページ管理者

エ. 一度限りの短期的な日本語体験活動

※各国の日系子女を対象に外国語として日本語教育を行う機関は対象に含まず。

1の「調査対象機関」の定義に当てはまらない場合は、下記にチェックをしてご返送いただくか、または、〇〇〇〇に記載のある発送元にご連絡ください。

今回調査の対象ではない

#### 2. 調査票について

(1) この調査では、教育段階ごとの学習者数などを回答して頂きますので、あなたの機関が該当する教育段階を予め確認してください。本調査での教育段階の定義は下記の通りです。なお、あなたの機関が、2つ以上の教育段階を有する場合は、その全てについて回答してください。

初等教育 おおむね7歳から12歳までの学校教育

前期中等教育 おおむね13～15歳の間の学校教育

後期中等教育 おおむね16～18歳の間の学校教育

高等教育 おおむね19歳以上を対象とした学校教育

その他の教育機関 語学学校、成人教育、企業・公的機関等の組織内研修、一般公開講座、継承語教育など

※上記の年齢区分はあくまで目安です。あなたの国の学校制度にあてはめると下記の分類になります。

初等教育	<input type="text"/>
前期中等教育	<input type="text"/>
後期中等教育	<input type="text"/>
高等教育	<input type="text"/>
その他の教育機関	<input type="text"/>

(2) 機関名など、あなたの機関の基本的な情報は、調査終了後インターネット上のデータベースで公開されます。

<https://jpsurvey.net/jfsearch/do/lang/jpn/index> (日本語)

<https://jpsurvey.net/jfsearch/do/lang/eng/index> (英語)

機関ごとの学習者数や教師数などの数値データは公開されません。

公開されるデータは設問横に(公開)の表示がありますので、ご確認ください。

(3) 調査票は「1機関で1票」記入していただくことを原則としていますが、例えば「同じ機関だが、別の学部がわからない」という場合には、あなたが答えられる範囲(答えられる部門、学部やキャンパス)について記入してください。その場合は、質問2の日本語教育部門名に部門名を記入してください。

#### 3. 機関情報の取扱いについて

「機関連絡用項目」は、今後国際交流基金からの郵便物の送付や連絡のために使用させていただくことがあります。国際交流基金は、関係法令を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取り組みについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jpff.go.jp/j/privacy/> (日本語)

<http://www.jpff.go.jp/e/privacy/> (英語)

2018年度 日本語教育機関調査(国際交流基金) ID: 

IDはこの調査票が送られたメールの文面にも書いてあります。

**質問1 機関名(公開)**

あなたの機関の正式名称を記入してください。

※略称は使わないでください。

アルファベット(ラテン)表記 あなたの国の文字での表記 

※あなたの国の文字がアルファベット(ラテン)表記である場合は空欄

(日本語での名称) 

※一般的な日本語での名称がない場合は空欄

**質問2 日本語教育部門名(公開)**

あなたの機関で日本語教育をしている部門の正式名称を記入してください。

※日本語教育をしている特定の部門がなく、機関全体で日本語教育をしている場合は、下記は全て空欄。

※略称は使わないでください。

アルファベット(ラテン)表記 あなたの国の文字での表記 

※あなたの国の文字がアルファベット(ラテン)表記である場合は空欄

(日本語での名称) 

※一般的な日本語での名称がない場合は空欄

**質問3 所在地(公開)**

あなたの機関(部門)の所在地の住所を記入してください。

※あなた(記入者)への連絡用住所は調査票の最後に記入欄がありますので、ここでは機関の所在地を記入してください。

アルファベット(ラテン表記)

郵便番号  州名 住所 

あなたの国の文字での表記 ※あなたの国の文字がアルファベット(ラテン)表記である場合は空欄

郵便番号  州名 住所 **質問4 連絡先(公開)**

あなたの機関(部門)の連絡先を記入してください。

※機関の組織としての連絡先です。公開しても差し支えない連絡先を記入してください。

※あなた(記入者)への連絡先については、調査票の最後の「連絡先」に記入欄があります。

電話番号(市外局番から) ファックス番号(市外局番から) 電子メールアドレス ウェブサイトURL 

※http://もしくはhttps://からお書きください。

**質問5 機関の設置主体 (公開)**

あなたの機関は次のどれに分類されますか。下の欄から最もよく当てはまるものをひとつ選んでください。

- 国、州、省、地方自治体により設置された機関
- 民間の団体や個人により設置された機関
- 日本の政府・関係組織により設置された機関

**質問6 日本語教師数**

(1) あなたの機関(部門)で日本語を教えている教師は全部で何名ですか。

(常勤・非常勤を問いません。ティーチングアシスタントを含みます。)

名

(2) (1)のうち、日本語を母語とする教師は何名ですか。(有無のみ公開。人数は公開されません)

名

※内数ですので、(1)の回答より人数より多い人数にはなりません。

**質問7 日本語教師の育成 (公開)**

あなたの機関(部門)には、日本語学習者を日本語教師として育成する課程がありますか。(ひとつだけ)

※あなたの機関の教師の資格・経験を問う質問ではありません。

- はい
- いいえ

下記の質問8は、教育段階ごとに質問をしています。あなたの機関が該当する部分について回答してください。  
あなたの機関が、2つ以上の教育段階を有する場合は、その全てについて回答してください。

**質問8 教育段階ごとの学習者数**

あなたの機関が日本語教育を実施している教育段階にチェックをしてください。また、チェックした教育段階について、それぞれ日本語履修の位置付けと、その位置付けごとの学習者数を回答してください。

【教育段階】(公開) (複数選択可)	【日本語履修の位置付け】(公開) (複数選択可)	【日本語学習者数】
<input type="checkbox"/> 初等教育	<input type="checkbox"/> 正規科目 (カリキュラム内)	<input type="text"/> 名
	<input type="checkbox"/> 課外活動 (カリキュラム以外のクラブ活動等)	<input type="text"/> 名
<input type="checkbox"/> 前期中等教育	<input type="checkbox"/> 正規科目 (カリキュラム内)	<input type="text"/> 名
	<input type="checkbox"/> 課外活動 (カリキュラム以外のクラブ活動等)	<input type="text"/> 名
<input type="checkbox"/> 後期中等教育	<input type="checkbox"/> 正規科目 (カリキュラム内)	<input type="text"/> 名
	<input type="checkbox"/> 課外活動 (カリキュラム以外のクラブ活動等)	<input type="text"/> 名
<input type="checkbox"/> 高等教育 ※一般向けの公開講座は 「その他の教育機関」に記入。	<input type="checkbox"/> 日本語専攻 (日本語学科、日本語教育学科等、専門分野として日本語を学ぶ)	<input type="text"/> 名
	<input type="checkbox"/> 日本語専攻以外 (日本語以外の専門分野を持ち、外国語科目として日本語を学ぶ)	<input type="text"/> 名
	<input type="checkbox"/> 課外活動 (機関内部で組織された日本語の研究会・勉強会・クラブ活動等)	<input type="text"/> 名
<input type="checkbox"/> その他の教育機関 (語学学校、成人教育、企業・公 的機関等の組織内研修、一般 公開講座、継承語教育等)		<input type="text"/> 名

下記の質問8-1は、上記の質問8で「高等教育段階の学校教育」にチェックした方のみお答え下さい。

**質問8-1.あなたの機関は、日本語または日本に関する分野を専攻した学生に対してどの学位を授与していますか。(公開)**

- ※あなたの機関の教師が保持している学位を問う質問ではありません。  
 ※あてはまるもの全てにチェックをしてください。  
 準学士号  学士号  修士号  博士号  授与していない

下記の質問8-2は、上記の質問8で「その他の教育機関」にチェックした方のみお答え下さい。

**質問8-2.あなたの機関で学習している学習者の属性を回答してください。**

- ※あてはまるもの全てにチェックをしてください。  
 未就学児  初等教育段階  前期中等教育段階  後期中等教育段階  高等教育段階  その他の成人

**質問9 日本語学習の目的・理由**

あなたの機関(部門)の学習者は主にどのような目的・理由で日本語を学習していると思われますか。

該当するものをすべて選び、□にチェックしてください。

- 1. 歴史・文学・芸術等の日本の文化に興味があるから
- 2. アニメ・マンガ・J-POP・ファッション等の日本の文化に興味があるから
- 3. 日本の政治、経済、社会などに興味があるから
- 4. 日本の科学・技術に興味があるから
- 5. 日本語という言語そのものに興味があるから
- 6. 日本語を使って受験や資格取得をしたいから
- 7. 日本に留学したいから
- 8. 将来の仕事・就職に役立てたいから
- 9. 今の仕事で日本語を必要としている、もしくは、役立てたいから
- 10. 日本に観光旅行をしたいから
- 11. 日本との国際親善活動(親善活動での訪日や来訪日本人の受入等)をしたいから
- 12. インターネットなどを通じて日本語で情報収集・コミュニケーションをしたいから
- 13. 仕事や学校、地域で日本語で会話をしたいから
- 14. 国際理解・異文化交流全般に幅広く興味があるから
- 15. 母語、または家族・親戚の言語(継承語)だから
- 16. 周囲の人(家族、親戚、知人など)に強く奨められたから
- 17. 上記1～16以外の目的・理由がある

具体的な目的・理由を記入してください

**質問10 日本語教育の実施状況**

あなたの機関(部門)の日本語教育に関する質問です。A～Hの各質問について、あてはまるものをひとつ選んでください。

A. 学習者数に対して教師の数はどうですか。

- 十分である    十分ではないが支障はない    少ない    わからない

B. 日本語の運用能力を十分備えている教師はどのぐらいいますか。

- ほぼ全員    半分程度    少ない    わからない

C. 十分な日本語教授の知識・技術を備えている教師はどのぐらいいますか。

- ほぼ全員    半分程度    少ない    わからない

D. 学習者数に対して日本語教材の数は十分揃っていますか。

- 十分揃っている    どちらかといえば揃っている    不足している    わからない

E. 現在使っている教材は、学習者のニーズやレベルに合っていますか。

- 合っている    どちらかといえば合っている    不十分である    わからない

F. 日本語の授業を行っている施設(建物・教室)は十分整備されていますか。

- 十分整備されている    十分ではないが支障はない    支障がある    わからない

G 積極的に授業に取り組む学習者はどのぐらいいますか。

- ほぼ全員    半分程度    少ない    わからない

H. あなたの機関の日本語学習者の数について、今後の見通しを教えてください。

- 増加する見込み    変わらない見込み    減少する見込み    わからない

I. あなたの機関で実施している日本語教育について、具体的な問題がありましたらご記入ください。

<連絡先記入欄> 以下に、あなた(記入者)の連絡先を回答してください。

1.ご記入者名  Prof.  Dr.  Mr.  Ms.  Mrs.  Miss

2.連絡先

※あなた(記入者)本人の連絡先です。公開用のあなたの機関の連絡先と異なる場合のみ記入してください。

電話番号

ファックス番号

電子メールアドレス

3. あなたは他の機関でも日本語を教えていますか。

- はい  
 いいえ

上記で「はい」と回答された方は、差し支えなければその機関の名前を教えてください。

→(この調査で出来るだけ多くの機関に調査を依頼するためです。)

◆ご協力ありがとうございました。記入済みの調査用紙もしくは電子ファイルを、  
あなたの国・地域の調査実施機関宛に返送してください。